

基本情報						
教科・科目		高3 倫理探究		・授業で使用するもの 教科書：実教出版 倫理702『詳述倫理』 配布プリント：授業中に配布した各単元のプリント iPad：ロイロノートにて授業のスライド、配布プリントなどの参考資料をアーカイブ。また、課題を提出。		
担当者		山上伸太郎				
評価割合（試験：試験外）		試験：7	試験外：3	【指導の方向性】共通テスト対策（共通テストで80%以上獲得することを目指す） 倫理の基礎力を身に付けるための演習を繰り返し、その後過去問を解くことによって、どのような問題が出題されたかを知り、少なくとも共通テストの倫理の分野で70%の得点を獲得できるようにする。 授業実施日：週3時間（月曜日4限・火曜日6限・土曜日2限）＊政治経済演習と同クラス実施。 定期試験実施回：第2回		
年間を通じて教科で培う力		鍛錬（知識及び技能）		人間としての在り方・生き方について思索するための手掛かりとなる様々な世界観・人生観・価値観について理解する。		
		理知（思考力・判断力・表現力等）		古今東西の先哲の考え方を手掛かりとして、より広い視野から人間としての在り方・生き方について多面的・多角的に考察し、自らの生き方の参考とする。		
		探究・叡智（主体的に学習に取り組む態度）		古今東西の代表的な先哲の思想から、人間をどのように捉え、どのように生きること示しているかについてをまなび、自己の生き方に結び付けて思索する姿勢を育む。		
学習情報						
月	回	単元（学習）目標	単元目的（到達状態）	学習内容	活動内容	評価方法・ポイント
4	6	【前年度からの引き継ぎ】 第4章 国際社会に生きる日本人としての自覚 第4節 西洋思想の受容と展開	【大テーマ】国際社会に生きる日本人としてどのような自覚を持つべきだろうか 【小テーマ①】啓蒙思想や自由民権思想は、人間や社会のあり方をどのようにとらえたのだろうか。 【KEY WORD】文明開花、明六社、福沢諭吉、中江兆民、二つのJ、大正デモクラシー、超国家主義	啓蒙思想と自由民権思想 キリスト教の受容 国家主義の台頭と社会主義思想 近代的自我の確立 近代日本哲学の成立と超国家主義 伝統の自覚と新たな課題	・講義 ・課題作成 ・小論文	・課題提出 ・小テスト
5	9					
6	定期試験① 令和7年 6月2日～6月4日 実施せず）					
6	9	第1章 自己形成と自己の生き方 第1節 青年期の課題と自己形成 第2節 人間とは何か	【大テーマ】青年期の課題は何だろうか。自己形成はどのように行われるのだろうか。 【小テーマ①】青年期とは何か 【KEY WORD】発達、ライフサイクル、心理的離乳、マージナルマン、愛着、共感性 【小テーマ②】自己を形成していくために、青年期にはどのような課題に直面するのか。 【KEY WORD】パーソナリティ、欲求、葛藤、防衛機能、ステューデントアパシー	青年期とは何か 自己形成の課題 よりよい生き方を求めて	・講義 ・課題作成 ・小論文	・課題提出 ・小テスト ・第2回定期試験
7	4					
7	定期試験② 令和7年 7月9日～7月11日 範囲）					
8	-	既習部分の復習	問題演習	問題演習 解説	・問題演習 ・演習に取り組む姿勢	・共通テスト演習 ・問題演習
9						
10						
	定期試験③ 令和7年 10月20日～10月22日 実施なし					
11		既習部分の復習	問題演習	問題演習 解説	・問題演習 ・演習に取り組む姿勢	・共通テスト演習 ・問題演習
12						
12	定期試験④ 令和7年 12月10日～12月12日 実施なし					
1		既習部分の復習	問題演習	問題演習 解説	・問題演習 ・演習に取り組む姿勢	・共通テスト演習 ・問題演習
2						
3						
定期試験⑤ 令和8年 3月4日～3月6日 実施なし						